

## 県内市町村における人口の将来展望・仮定値 一覧

No	市町村	策定期	【参考】 2010 国調人口	【参考】 2015 国調人口 (速報値)	人口の将来展望						
					将来展望値		社人研推計値		A/B	仮定値	
					年	人口(A)	年	人口(B)		出生率	社会増減
	熊本県	H27.10	1,817,426	1,786,969	2060	1,444,000	2060	1,176,000	1.23		
1	熊本市	H28.3	734,474	741,115	2050	700,000	2050	608,000	1.15	2030年までに2.0(県民希望出生率)、2040年までに2.1(市民希望出生率)	年間400人程度の転入超過
2	八代市	H27.10	132,266	127,540	2060	86,900	2060	67,600	1.29	2030年までに2.0、2040年までに2.07に上昇、その後2.07で推移	15~24歳の転出数が男性45.8%、女性37.0%減少し、15~24歳の転出者の男性63.3%、女性55.8%が将来転入
3	人吉市	H27.10	35,611	33,891	2060	26,897	2060	16,440	1.64	2060年まで2.1で推移	社会減が5年毎に5年前の70%に縮小し、社会増が5年毎に5年前の125%に増加すると仮定
4	荒尾市	H27.10	55,321	53,453	2060	42,000	2060	36,003	1.17	2020年までに1.8、2030年以降2.1で推移	2020年以降、社会増減が均衡
5	水俣市	H27.10	26,978	25,418	2060	18,118	2060	10,619	1.71	2020年までに2.07、2030年までに2.1	2020年までに均衡
6	玉名市	H27.12	69,541	66,802	2060	52,468	2060	38,315	1.37	2030年までに2.03に回復し、2040年までに2.11に回復	社会減が2020年までに半分程度に縮小し、その後は均衡
7	山鹿市	H27.10	55,391	52,278	2060	38,000	2060	28,000	1.36	2040年までに1.8に上昇し、その後は1.8で推移	2030年までに半減し、その後は均衡
8	菊池市	H28.3	50,194	48,209	2060	37,264	2060	29,168	1.28	2020年までに1.9、2030年に2.0、2040年に2.1まで上昇	2040年を目途に社会動態±0を目指す(※2040年までは、純移動率を1/2で推計)
9	宇土市	H27.10	37,727	37,053	2060	31,000	2060	23,968	1.29	2030年までに1.8、2040年までに2.07	転出超過になっている世代(10代後半~20代前半等)について、将来的に転出超過をゼロにする
10	上天草市	H27.12	29,902	26,998	2060	12,770	2060	10,612	1.20	2030年までに2.0、2040年までに2.2、それ以降は2.2で推移	社人研推計値の転出超過を10%抑制、転入超過を10%増加
11	宇城市	H28.1	61,878	59,781	2060	40,760	2060	36,790	1.11	2015年まで現状値で推移、2060年まで5年間に0.07人ずつ上昇	2015年まで現状値で推移、2025年まで転出超過割合が1/2に改善、2060年まで転出超過割合がほぼゼロに改善
12	阿蘇市	H27.10	28,444	27,038	2060	20,000	2060	14,643	1.37	1.7を維持	2030年までに均衡
13	天草市	H28.3	89,065	82,770	2060	45,000	2060	33,051	1.36	2030年までに2.1へ上昇、その後2.1で推移	年間の社会減を現在の2/3までに縮減
14	合志市	H27.10	55,002	58,402	2060	68,000	2060	56,180	1.21	2030年までに2.1へ上昇し、その後2.1で推移	本市で生まれ育った若者の人口流出を2040年までに現在の半分程度縮小、生産年齢人口(15~64歳)の社会増減が転入超過を維持
15	美里町	H27.11	11,388	10,341	2060	5,752	2060	4,117	1.40	2020年までに1.8、2030年までに2.05、2040年までに2.1へ上昇	2020年までに社会減を半分程度に縮減、その後は均衡
16	玉東町	H27.12	5,554	5,264	2060	4,049	2060	3,198	1.27	2020年までに1.8、2035年までに2.0、2050年までに2.1へ上昇	2020年までは社人研推計準拠、以後はアンケートに基づいた純移動率0.01282
17	南阿蘇町	H28.2	10,564	9,790	2060	7,500	2060	4,779	1.57	2030年までに2.0、2040年までに2.1へ上昇	2020年までに均衡、その後段階的に社会増減を伸ばし、2060年に社会増69人
18	長洲町	H27.10	16,594	15,900	2060	11,889	2060	9,697	1.23	2040年までに1.7、2060年までに1.8へ上昇	移動率が2010年→2015年:0.90、2015年→2020年:0.45、2020年→2025年:0.25、2025年以降0.25
19	和水町	H28.3	11,247	10,198	2060	6,411	2060	5,159	1.24	2020年までに1.87、2030年までに2.0へ上昇し、以降は2.0で推移	社会増が2020年43人、2030年60人、2040年75人、2050年75人、2060年に59人
20	大津町	H28.3	31,234	33,480	2060	36,392	2060	34,572	1.05	2030年までに1.93、2040年までに2.1へ上昇	純移動率が2020年までに定率で0.5倍に縮小し、その後は均衡
21	菊陽町	H27.10	37,734	40,996	2040	48,968	2040	43,258	1.13	2020年までに2.1	日本創生会議準拠をベースに2020年に2.0倍、その後1.0倍まで収束
22	南小国町	H27.10	4,429	4,051	2060	2,684	2060	2,422	1.11	2030年までに2.1へ上昇、その後は2.1で推移	住民アンケートに基づいた純移動率
23	小国町	H27.10	7,877	7,188	2060	5,051	2060	2,743	1.84	2020年までに2.1	2020年までに社会増減が均衡
24	産山村	H27.10	1,606	1,510	2060	876	2060	738	1.19	2030年までに2.0、2040年までに2.1へ上昇	2015年から2020年まで定率で0.5倍に縮小、その後はその値が一定
25	高森町	H27.10	6,716	6,327	2060	4,000	2060	2,857	1.40	2.1へ上昇	社会増減均衡
26	西原村	H27.10	6,792	6,805	2060	7,364	2060	6,395	1.15	2030年までに2.1へ上昇、その後2.1で維持	10歳代後半~20歳代後半の2025年以降増減無し
27	南阿蘇村	H27.10	11,972	11,512	2060	8,493	2060	7,112	1.19	2019年までに1.64、2030年までに2.0	住民アンケートに基づいた純移動率
28	御船町	H27.12	17,888	17,243	2060	13,374	2060	11,082	1.21	2025年までに1.8、2030年までに2.1まで上昇	2015年から転入・転出数が同数
29	嘉島町	H27.11	8,676	9,057	2060	8,629	2060	7,873	1.10	2020年までに1.7、2025年は1.8、2030年までに2.0、2040年以降は2.1	2040年に30代~40代の社会減がゼロ
30	益城町	H27.11	32,676	33,632	2060	27,302	2060	23,133	1.18	2015年までに1.7、2025年までに1.8、2030年までに2.0へ上昇	2020年から社会増減がゼロ
31	甲佐町	H27.12	11,181	10,718	2060	7,990	2060	5,784	1.38	2015年=1.8、2020年=2.0、2025年=2.1、2030年=2.37へ上昇	2025年から社会移動がゼロ
32	山都町	H27.12	16,981	15,164	2060	7,599	2060	4,904	1.55	2025年まで1.94を維持、2030年までに2.0、2040年までに2.1へ上昇	2060年までに社会増減を1,121人改善
33	氷川町	H27.12	12,715	12,001	2060	7,766	2060	6,017	1.29	2030年までに1.8、2060年までに2.07へ上昇	2040年までに社会移動人口を±10人未満、その後継続
34	芦北町	H27.10	19,316	17,668	2060	8,517	2060	7,334	1.16	1.78を維持	2015年から2040年まで、20代前半の人口流出が毎年20人抑制し、2025年以降の20代後半~40代前半の人口及び0~14歳の移動率を0
35	津奈木町	H27.12	5,062	4,678	2060	3,046	2060	2,100	1.45	2040年までに2.03へ上昇	2020年までに社会減が半減し、その後は均衡
36	錦町	H27.10	11,075	10,774	2060	7,310	2060	5,985	1.22	2040年までに2.14へ上昇、その後2.14で推移	2020年までに社会減が半減し、その後は均衡
37	多良木町	H27.10	10,554	9,798	2060	5,030	2060	3,995	1.26	2030年以降2.1へ上昇	社会減が2020年まで▲10%、2030年まで▲20%、2040年まで▲30%、2050年まで▲40%、2060年まで▲50%
38	湯前町	H27.10	4,375	3,990	2060	2,148	2060	1,627	1.32	2030年までに2.1へ上昇、その後2.1を維持	2040年に町全体の純移動数がゼロ、その後はゼロを維持
39	水上村	H27.10	2,405	2,232	2060	1,150	2060	955	1.20	2025年までに2.0、2035年までに2.1、その後2.1で推移	2020年までに社会減が半減し、その後は均衡
40	相良村	H27.12	4,934	4,461	2060	2,427	2060	1,889	1.28	2030年から1.9、2045年から1.95、2060年に2.0へ上昇	2030年以降の社会減が半減
41	五木村	H27.10	1,205	1,046	2060	558	2060	266	2.10	2030年=1.8、2040年=2.0、2045年=2.1へ上昇	2020年までに社会増減が均衡
42	山江村	H27.11	3,681	3,424	2060	2,996	2060	2,074	1.44	2020年までに2.13、2030年までに2.34、それ以降2.34で推移	2020年までに均衡
43	球磨村	H27.10	4,249	3,700	2060	2,267	2060	1,192	1.90	2030年までに2.20へ段階的に引き上げ、2040年以降は2.30を維持	2020年までに社人研の推計値の約半分は縮小し、2020年以降は均衡
44	あさぎり町	H28.1	16,635	15,532	2060	10,958	2060	8,984	1.22	2.1まで上昇	2020年までに1割減、2030年までに2割減、2040年までに4割減、2050年までに6割減、2060年までに7割減
45	苓北町	H27.12	8,314	7,741	2060	5,500	2060	3,349	1.64	2030年まで2.1へ、2040年までに2.2、それ以降は2.2で推移	2020年までに社会増減が均衡
	市町村計		1,817,423	1,786,969		1,493,173		1,234,979	1.21		

(参考) 県 - 市町村計

▲ 49,173

▲ 58,979